

2024年度 天使大学卒業生に関する就職先アンケート集計結果 【看護学科】

■調査対象・期間

調査対象：看護学科2022年度卒業生の就職先

調査期間：2024年5月1日～2024年5月31日

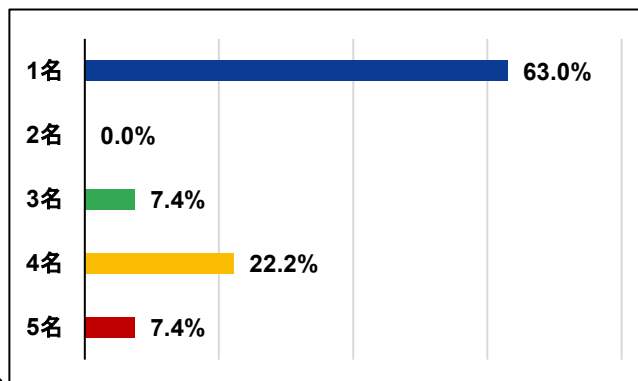
■送付・回答数

学科	送付数	回答数	回答回収率
看護学科	41	27	65.9%

■回答集計結果

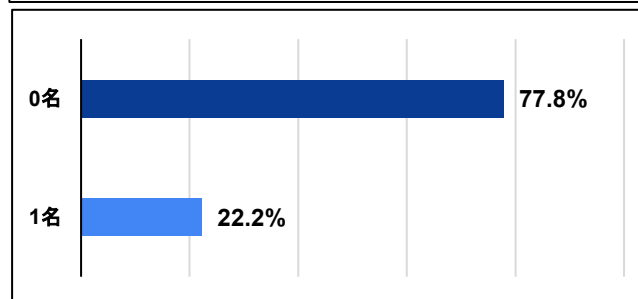
質問1 2022年度卒業生（2023年4月1日入職）における貴施設への、天使大学卒業生の就職者数をご回答ください。

1名	17	63.0%
2名	0	0.0%
3名	2	7.4%
4名	6	22.2%
5名	2	7.4%
計	27	100.0%



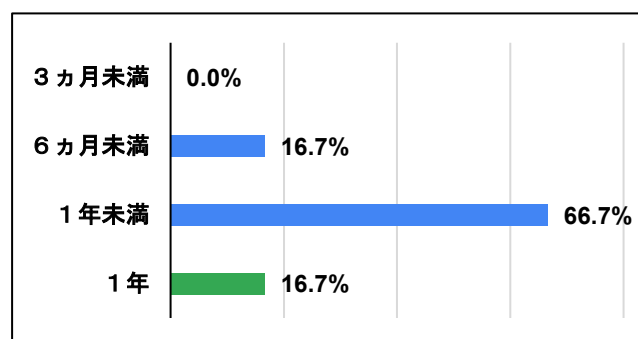
質問2 質問1の就職者のうち、離職者数をご回答ください。

0名	21	77.8%
1名	6	22.2%
計	27	100.0%



質問3 質問2で、離職者数をご記入された方、離職者の勤務年数をご回答ください。（複数回答可）

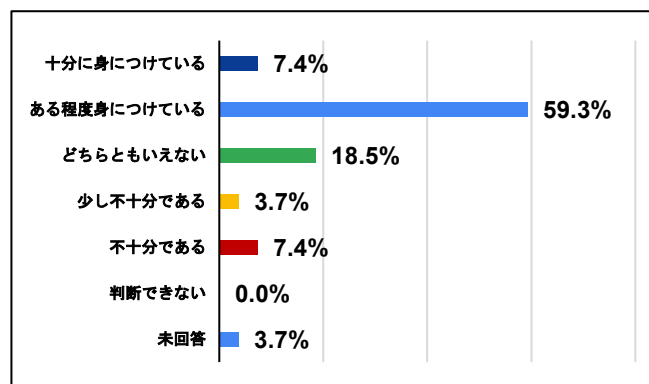
3ヵ月未満	0	0.0%
6ヵ月未満	1	16.7%
1年未満	4	66.7%
1年	1	16.7%
計	6	83.3%



質問4 天使大学の卒業生に身に付けてほしい能力が卒業後に身につけているかをお尋ねします。貴施設に就職している卒業生の能力の到達度について、あてはまる項目を一つ選んでください。卒業年度が異なる卒業生が複数名在籍している場合も、入職時の状況についてご回答ください。

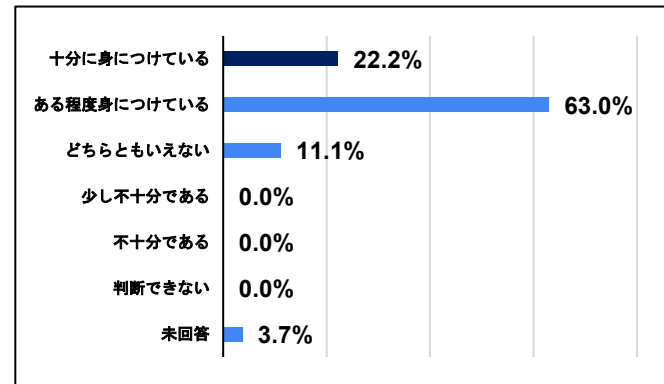
1. 看護師に必要な専門的知識と技術を修得している

十分に身につけている	2	7.4%
ある程度身につけている	16	59.3%
どちらともいえない	5	18.5%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	2	7.4%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	100.0%



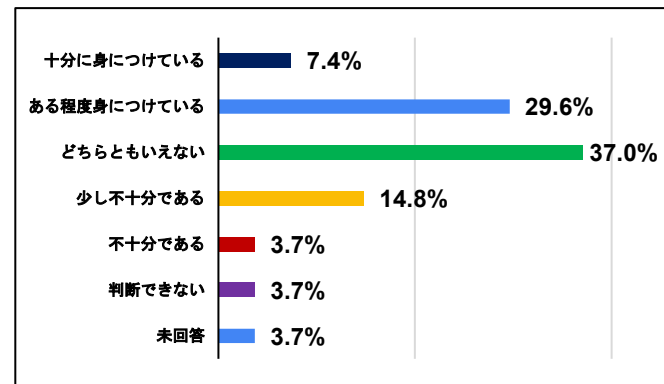
2. 援助を必要とする人に愛情をもって接することができる

十分に身につけている	6	22.2%
ある程度身につけている	17	63.0%
どちらともいえない	3	11.1%
少し不十分である	0	0.0%
不十分である	0	0.0%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



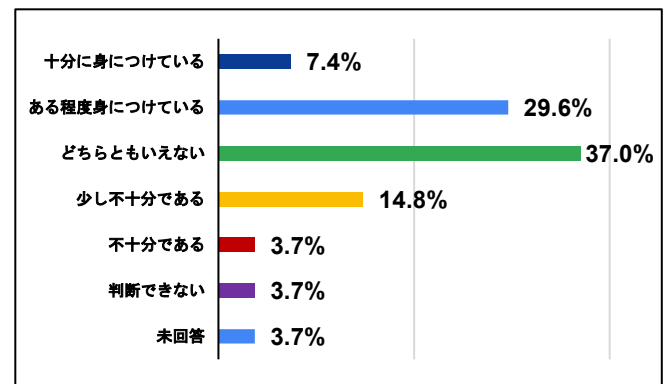
3. 社会システムを理解している

十分に身につけている	2	7.4%
ある程度身につけている	8	29.6%
どちらともいえない	10	37.0%
少し不十分である	4	14.8%
不十分である	1	3.7%
判断できない	1	3.7%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



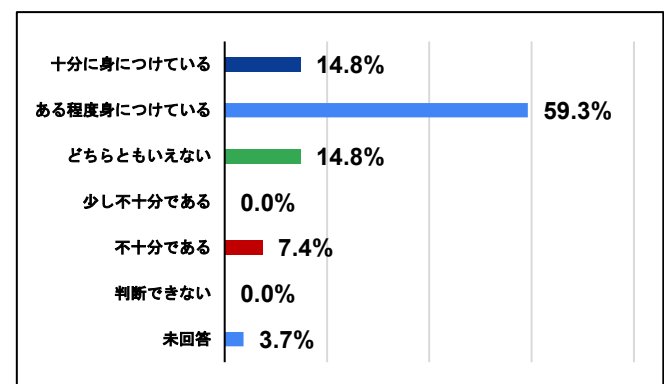
4. 社会の変化に柔軟に対応できる

十分に身につけている	2	7.4%
ある程度身につけている	8	29.6%
どちらともいえない	10	37.0%
少し不十分である	4	14.8%
不十分である	1	3.7%
判断できない	1	3.7%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



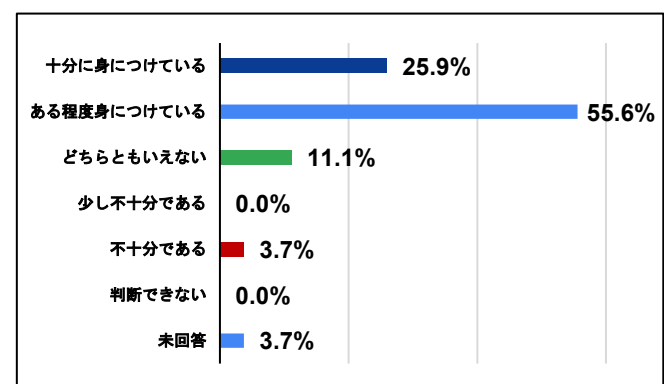
5. 自ら律することができる

十分に身につけている	4	14.8%
ある程度身につけている	16	59.3%
どちらともいえない	4	14.8%
少し不十分である	0	0.0%
不十分である	2	7.4%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



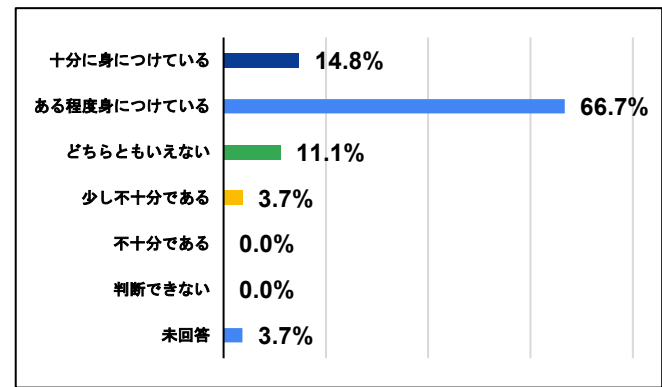
6. 他者と協力できる

十分に身につけている	7	25.9%
ある程度身につけている	15	55.6%
どちらともいえない	3	11.1%
少し不十分である	0	0.0%
不十分である	1	3.7%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



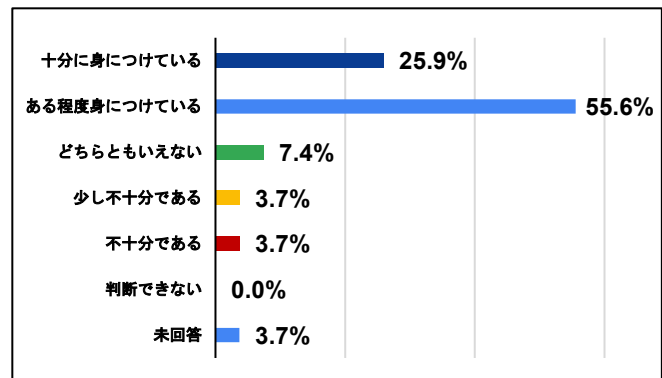
7. 倫理的配慮ができる

十分に身につけている	4	14.8%
ある程度身につけている	18	66.7%
どちらともいえない	3	11.1%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	0	0.0%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



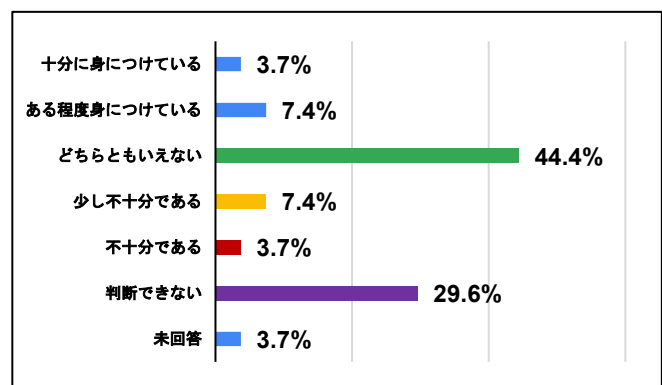
8. 責任ある行動がとれる

十分に身につけている	7	25.9%
ある程度身につけている	15	55.6%
どちらともいえない	2	7.4%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	1	3.7%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



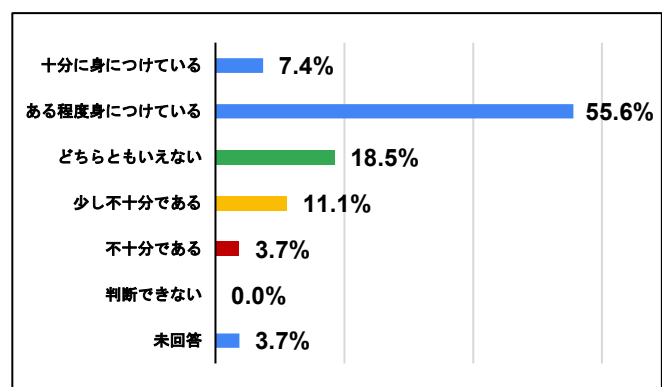
9. 国際的な視野を持っている

十分に身につけている	1	3.7%
ある程度身につけている	2	7.4%
どちらともいえない	12	44.4%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	1	3.7%
判断できない	8	29.6%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



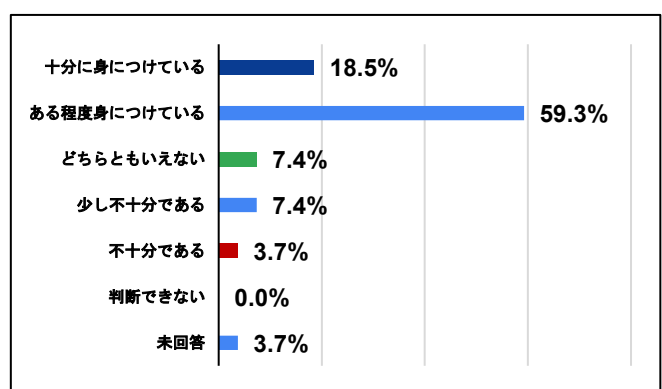
10. 多様な人々や環境について理解できる

十分に身につけている	2	7.4%
ある程度身につけている	15	55.6%
どちらともいえない	5	18.5%
少し不十分である	3	11.1%
不十分である	1	3.7%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



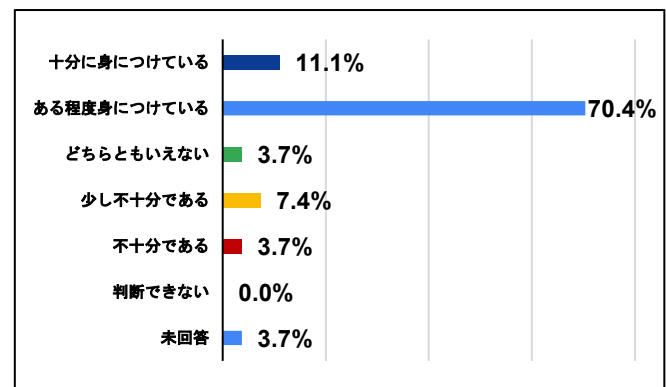
11. 自らの課題を見つけることができる

十分に身につけている	5	18.5%
ある程度身につけている	16	59.3%
どちらともいえない	2	7.4%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	1	3.7%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



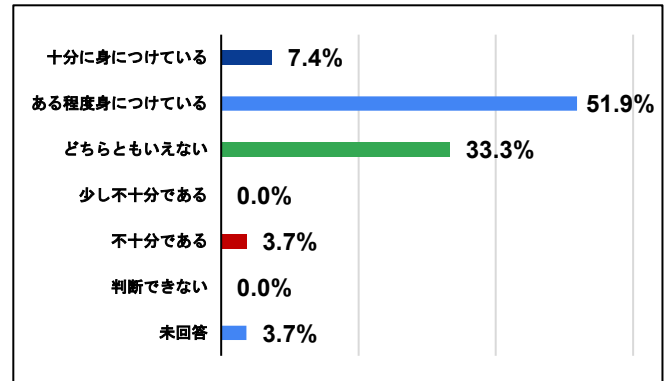
12. 目標を立てて取り組むことができる

十分に身につけている	3	11.1%
ある程度身につけている	19	70.4%
どちらともいえない	1	3.7%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	1	3.7%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



13. 科学的視点を持って理解することができる

十分に身につけている	2	7.4%
ある程度身につけている	14	51.9%
どちらともいえない	9	33.3%
少し不十分である	0	0.0%
不十分である	1	3.7%
判断できない	0	0.0%
未回答	1	3.7%
計	27	96.3%



質問5 天使大学での教育を通して、卒業までに身に付けてほしい能力等がありましたらご記入ください。 (自由記述)

・天使大学の学生に限ることではありませんが、メンタルを強く持ってほしいです。学生時代とのギャップについていけない、先輩看護師に注意され落ち込み過ぎる。などせず、気持ちを切り換えられるメンタルの強さを持って長く働き続けてほしいです。

・貴校にかかわらず、就職、進路の支援は力を入れてほしいです。組織やチームに属し、看護職として成長、自律することの理解が足りないと感じます。看護職を選択した自覚や責任を置き去りにして、この生活や自由を重視し、安易に転職を決める傾向は年々強くなっています。

・高齢の患者と関わる時など言葉使いがもう少し丁寧だと良いと思います。

・どのような年代を対象にしてもコミュニケーションがとれるような能力。
自分の悩みを打ち明けられるような相手を見つけて欲しいです。

・基礎看護技術の修得、実践の評価、改善の能力

・生活者として観察する力、気づく力、変化に気づく力、他者に伝える力、雑談する力

・社会人基礎力、課題解決のプロセス、自己の課題をみつける教育

・専門職としてのキャリアアップについて考え実行すること

・科学的根拠に基づいた思考

・アセスメント能力

・日々の実践（実習）の中で、自分の不足している知識を認識する。そして学修する課題を見出して自主学習する力をつける。患者を総合的にアセスメントして適切な看護を導き出し、患者の状態の変化に合わせて判断・行動することが出来る。（他者への相談も含む）

・多少の困難があっても乗り越えようとする力

・社会においての看護師としての自分の意義、看護師としての仕事に対する価値観、自己洞察力

・一般的な接遇に加えて、ホスピタリティな視点からの接遇も身につけていただきたいです。

・ある程度はコミュニケーションが取れて、他者と協力ができ、柔軟に対応できる能力があると良いと思います。

・医師とのコミュニケーションをとることにすごく緊張している。報告や相談方法など少しでもいいので学んでほしい。

・主体的、間違っても構わないので発言力

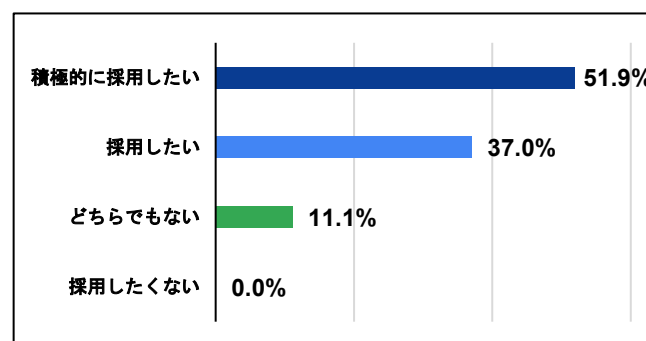
・自ら考え発言する力を伸ばしてほしいです。

質問6 天使大学の卒業生が優れていると思うものがあればご記入ください。（自由記述）

- ・礼儀 マナー
- ・学生の中に学んだ知識、文章をまとめる力
- ・文章を書くこと、物事に取り組む力や姿勢
- ・患者さんに対して優しく接する事が出来ている。
- ・社会人としての言動を考えながら実行している。
- ・素直で誠実、常識的、清潔感がある
- ・自ら考えて行動できる。責任感がある。
- ・看護とは何かを考え、倫理感も持ち合わせていると感じています。個人差も大きいと思いますが、社会適応をしていくための自己の知り方など基礎教育でも臨床でも必要だと感じています。
- ・大学院進学等、学ぶ姿勢を保てる心
- ・患者さんに対し、愛情や敬意をもって接することができる
- ・プライマリー患者のケアについて、先輩ナースのアドバイスを受けながら、患者の持っている力に働きかけている取り組んでいる姿は素晴らしいです。本人の自信につながっていると思います。
- ・規律性があり組織のルールやマナー、接遇の基礎が出来ていると思います。質問や意見を言う際にも末尾に「ありがとうございます。」と相手に感謝の言葉が言えるのは良いと感じました。
- ・とても協調性があると感じてます。就職説明会にも参加協力いただきました。
- ・自ら学習ができています。社会人として早期から対応が出来ていた。
- ・患者さんを尊重し、寄り添う姿勢を持った職員が多いように思います。
- ・倫理観、科学的視点
- ・入職したスタッフは明るくスタッフとも上手く関わっています。大学の理念なども教えてくれて、しっかり育てられたという印象です。2年目になり一生懸命頑張っています。

質問7 天使大学の卒業生を今後も採用したいですか。

積極的に採用したい	14	51.9%
採用したい	10	37.0%
どちらでもない	3	11.1%
採用したくない	0	0.0%
計	27	100.0%



質問8 質問7で「採用したくない」と回答された方、理由があればお書きください。（自由記述）

回答なし

質問9 その他、天使大学の教育に関してお気づきの点がございましたらご記入ください。（自由記述）

- ・自己の価値観が先行しないように患者さんの思いを尊重できるよう引き続き育成していただきたいです。とても前向きで明るい姿にスタッフも元気と刺激をもらっています。ありがとうございます。
- ・カンファレンスなど同調性が高いと思います。よい部分もあるのですが多様な意見に接する機会など訓練が必要と思っています。（臨床の場面でも訓練が必要なことです）
- ・個人の特性にもよりますが、相手の話を聞くことが出来るようになってほしいと思います。聞くとは、聞こえることではなく、聞いて理解することです。返事はしていても何を言われているか分からない感じです。
- ・1年が経ちましたが、とても優しく、笑顔で働いています。
- ・個人的な問題が大きいと思ってます。他に在職しているスタッフは安定感があり患者の対応が丁寧で当院で看護の力を発揮してくれています。